

山ノ内小学校 学校便り

カラー版はHPIにて掲載

ケヤキっ子

令和5年5月11日
発行者 熊本市立山ノ内小学校
校長 菊川 靖浩
熊本市東区山ノ内4丁目1-1
TEL 367-0800
FAX 331-1503

<不便は人をつなぎ、心を広くする>

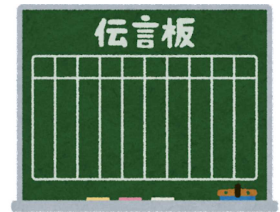
4月16日は熊本地震本震から7年でした。私の家も電子レンジは落ち、食器は粉々になり、靴を履いて家の中を片づけたものです。あの時は、多くの家が水道、電気、ガスが止まり、近所の小学校や車の中で寝泊まりをしたりと、何をするにも不便でした。

不便なので、ご近所同士で声をかけあうようになり、「みんなで頑張ろう」という雰囲気になりました。いくつかの温泉施設は無料開放をしてくれたり、炊き出しをおこなってくれた施設もありました。

自分だけが不便な時は、不満に感じるものですが、みんなが不便な時は、うまくいなくても「まあ、しょうがない」という広い心になっていたように思います。昔、携帯電話などがなかったときは、駅には「伝言板」があり、待ち合わせに来なくても、「まあしょうがない」という気持ちで生活をしていました。

今は、ほとんどの人が便利な生活に戻りました。便利になれば、協力したり、相手のことを思う必要性は減り、ネットでは人を傷つける意見が増えるように思います。

TVでは、コンビニのレジの前でおばあさん役と怖い役のお兄さんが「たたくより～、たたえ合おう～♪」と歌うCMも流れています。自分もそうありたいと思うばかりです。



<交通安全教室>

4月27日(木)は1, 3年生を対象とした交通安全教室が開催されました。本校の校区は、狭い道がたくさんあり、私も出退勤の時は、細心の注意を払いながら車を運転しています。当日は、子どもの飛び出しによる交通事故の映像などが放映され、子どもたちもしっかりと見ていました。私の子どもの5歳くらいの時、何を思ったか、左右を確認せず、突然すごいスピードで走って道路に飛び出したことがありました。幸いにも車は来ていませんでしたが、あの時車が来ていたら・・・と思うと心臓が止まる思いでした。その時は、本気で「二度とお父さんやお母さんと会えなくなる場所だったんだよ」と伝えました。不幸な事故がないように、ご家庭でも、愛情をたっぷり表現して、お話をしていただけると幸いです。

しっかりとお話を聞く1年生



感想を言う木村さん

<避難訓練>

4月28日(金)は地震を想定した避難訓練がありました。訓練の後2年生の木村さん、ならびに1, 3, 6年生の子が代表して「緊張したけどみんなの命が守れてよかった」「がんばりました」「ドキドキしました」「もう少し、おしゃべりをせずに避難出来ればもっとよかった」などの感想を全校児童の前で発表してくれました。

地震の予知は、今の技術では非常に難しいといわざるを得ません。訓練をくり返し、あの時のことを子どもたちに語り継ぎ、被災することを少しでも減らしていくことが、私たち大人の責任でもあると感じた避難訓練でした。

